

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和5年度 第6号
令和5年11月25日発行
<発行・編集>
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL : 025-543-2729
FAX : 025-543-4150
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

すこやかネットワーク学力向上研修会

すこやかネットワークでは学力の向上において「小中学校9年間を見通したカリキュラムの編成を目指す」とことと「学力的な課題や授業改善の方向性を共有し確かな学力を育成する」ことを活動目標としています。具体的な取組で一番大事にしているのは授業力の向上です。各校でも教師としての資質能力、学校としての研究力を高めるために授業研究を行っていますが、学校間の授業研究交流会を実施することで、各校の研究や授業改善の取組について情報交換し自校の研究や自らの授業力に反映させることができます。

ここ数年は感染症対策のために他校との授業交流は規模を縮小して行い、大勢が集まったの交流は困難でした。今年度は新型コロナウイルス感染症が2類から5類になったことに伴い、東中学校区でも教員間の大規模な交流が可能となりました。そこで、直江津東中学校の学習支援改善訪問に4小学校の教員が参加し学ぶ機会としました。

期 日 10月16日(月)

会 場 直江津東中学校

- | | | |
|-----|-------------------------|-------------|
| 内 容 | ・研究授業共同参観 | 13:50~14:40 |
| | 1年2組 数学科「1次方程式」 | |
| | 2年3組 社会科「九州地方」 | |
| | 3年3組 国語科「夏草—『おくのほそ道』から」 | |
| | ・中学校の研究概要説明 | 14:50~15:10 |
| | ・研究協議会 | 15:15~16:15 |



【1年2組 数学】



【2年3組 社会】



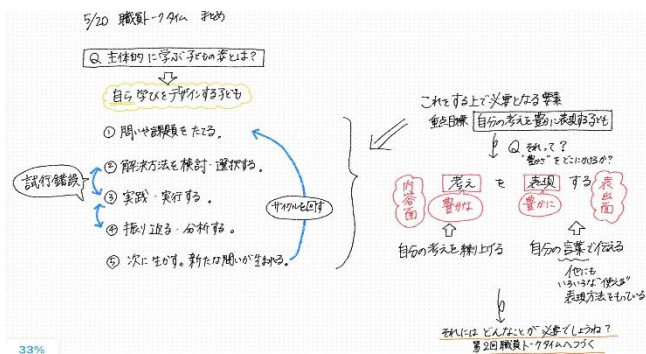
【3年3組 国語】

数年ぶりに中学校の授業を小学校の教員が参観できたことは小中学校の系統性を考えるうえで貴重な機会となりました。特に中学校で重点にしている「認め合う集団づくり」「学び合いのある授業」、各教科で設定している生徒の「目指す姿」は小学校段階から育成することで効果が一層上がると考えます。研究協議会では生徒の姿から授業を語るとともに、ICTの利活用、学校段階で押さえるべき指導事項などの情報交換を行い、有意義な研修となりました。

北諏訪小学校の取組

今年度の北諏訪小で力を入れていることは、主体的に学び、自分の考えを豊かに表現する子を増やしていくことと、家庭学習の内容を見直し、質を高めることです。

まず、子どもが主体的に学び、自分の考えを豊かに表現する具体的な姿について、職員で話し合いました。



そして、子ども自身が自分の考えを伝えたい場を設定（トークタイム）し、定期的に共通のテーマについて語り合うという実践をしています。



また、家庭学習で工夫がみられるものを紹介するコーナーも設置しました。掲示をすることで、子どもたち同士互いに参考にする様子が見られました。

引き続き、自分の学習への主体的な取組と、豊かに表現する子を求めて、策を講じていきます。



保倉小学校の取組

合言葉「共に考え 動き出そう」

昨年度は「自ら考え 動き出そう」を全校の合言葉にし、子どもが主体的に考え、学ぼうとする姿を目指した研修を重ねました。子どもたちは自ら考えゴールに向かいましたが、考えを伝えたり共有したりすることで、さらに次の学びへとつながっていく様子も見られました。そこで、今年度は合言葉を「共に考え 動き出そう」として、友達と共に学ぶことで、学びを楽しんだり、学びを活かしてさらに課題を追究したりしようとする子どもたちを育成しています。



《日々研修》

授業公開やその後の協議会を行うことは、授業改善に直接結び付く研修として大切にしています。また、経験年数の差や得意分野の違いを生かし、職員同士で学び合うことも重要な研修と捉えています。そこで、職員室や教室等の身近な場所で、短時間でも実施可能な「ちょい研」を行っています。ICT活用について伝えたり、授業のアイデアを出し合ったりして、子どもたちが「今日の学習は楽しかった」と実感できる授業を目指して日々研修を重ねています。



有田小学校の取組

今年度は、「自分もみんなも大切にすることの育成」を研究主題として設定し、みんなが安心して過ごせる学級・学年・学校を子どもと職員が共に創る活動に取り組んでいます。

○公開授業研究

公開授業は学年を越えて参観し、「自分もみんなも大切にすることの育成」の姿を育成するための子ども同士の活動や教師の働き掛け等を協議会で共有し、学び合っています。教科・領域のねらいの達成に向けた手立てと共に、学びを支える学級の人間関係、集団づくりについても学んでいます。また、ペアやグループでの話し合いの工夫を各学年や学級で進めています。



○スタディ&アウトメディアウィーク

各学期に1回、1週間の期間で実施しています。今年度は、家庭学習時間とメディアコントロールに関わる項目と共に、早寝・早起き・朝ごはんの項目を入れました。学習習慣と生活習慣をトータルで振り返ることを通して、子どもたちのよりよい習慣づくりを家庭と連携して進めています。

○かかわり方を学ぶ校内研修

研究主題との関連を図り、「対話」、「協同学習」や「ファシリテーション」などをキーワードにして、講師の先生を招いての研修に取り組みました。上越教育大学の長瀬浩正教授からは、ホワイトボードを活用した「対話」を大切にしたい外国語活動の協同学習の進め方について学びました。また、学校支援プロジェクトで連携している上越教育大学の阿部隆幸教授からは、学級づくりに関わるファシリテーションについて学びました。阿部教授の研究室の院生の皆さんからは、学級でペア・コミュニケーションの活動を実践していただきました。研修で学んだことを日々の学級づくりや授業づくりで活かしています。

春日新田小学校の取組

当校は、今年度も「認め合い進んで学び合う子どもの育成～ステーション授業構想による集団づくり～」を研究主題として校内研修を進めています。

○「かかわり方スキル」を活用した授業づくり

研究主題に迫るために、道徳や学級活動で、児童が「かかわり方スキル」を学ぶことで、協働的な学びの土台となる「良好な関係」を培うことができるようにしています。また、各教科でスキルを使った交流場面を設定したり、学校生活の中で使うようにしたりしながらスキル定着を図っています。そして、教師から児童、または児童同士による「肯定的フィードバック」によって、自他の承認感を高めるようにしています。

また、全職員で公開授業研究・協議会を行い、見取った児童の様子から、主体的な学びや学びの深まりなど、目指す子どもの姿を具現できているか協議しています。児童の学びを確かなものにするとともに、教師の授業改善に取り組んでいます。



【2年生公開授業の様子】

○学力テストの分析

学力テストや学習指導改善調査の分析を全職員で行い、児童の傾向を把握し、2学期以降に重点単元として設定したり、自学級や持ち授業の指導に生かしたりしました。「継続性」をキーワードにして、年間を通して指導を進めています。

○「スタディ&アウトメディアウィーク」の実施

年間に3回実施しています。一人一人がめあてを立てて取り組み、課題を選択したり、自分で考えたりしながら学習に取り組むようにしています。また、過ごし方を工夫することで、メディアと上手に付き合えるように働きかけています。

○ICTを活用した授業実践

ICT活用への意識が高い職員が多く、ICTをより効果的に活用できるように進んで授業にICTを取り入れ授業実践をしたり、情報共有をしたりしています。子どもたちにとってよりよい学びの時間を目指し、今日も工夫を重ねて頑張っています。



直江津東中学校の取組

昨年度の反省を活かして、今年度も直江津東中学校は、次の3つの目標の達成を目指して取り組んでいます。

○意欲的に学ぼうとする集団づくり

現在の東中生徒は授業に落ち着いて取り組んでいます。その基盤が「生徒同士、生徒と教員、教員同士のよりよい人間関係」です。行事や毎日の生活の中で、互いに認め合う場面を作り、つながる場面を意図的につくっていくことで、人間関係が改善されてきています。

校内では、「アセス」という学校適応感を調べるアンケートを行い、その結果をもとに、一人一人の生徒の様子を見取り、指導に生かしています。

○学び合いのある授業づくり

昨年まで話し合う活動が制限され、話し合いのスキルが身に付いていない生徒も見られました。そのためペア、小グループによる話し合い活動を意図的にを行い、話し合いのスキルアップを図っています。

自分の考えをもち、仲間と意見を交わし合い、より深い学びを目指しています。



○家庭学習・自主学習の習慣づくり

今年度は新しい取組ではなく、従来の取組を徹底していくという方向で行っています。習慣作りノートやテスト計画のチェック、宿題黒板の（教師側の）活用などです。また、生徒の活動として、学習委員会が定期的に「学習の約束七か条」の中から、クラスの実態に応じて重点項目を決めて、呼びかけを行ったり、定期テスト前の学習時間のチェックを行ったりするなど家庭学習の働きかけをしています。

家庭学習は、ご家庭の協力が必要です。ご家庭でも声掛けをしていただくとありがたいです。

秋のあいさつ運動 ありがとうございました。

9月の秋のあいさつ運動のアンケート結果です。下記の質問には39名から回答をいただきました。多くのご協力に感謝しております。

1 立哨中に会った大人の方とあいさつを交わしましたか

ア 交わした	31
イ 交わしたり交わさなかったりした	8
ウ 交わさなかった	0
無回答	0

2 立哨中に児童生徒に自分の方からあいさつをしましたか

ア 自分から先にした	18
イ 自分からしたり相手が先にしたりした	20
ウ 相手が先にした	1
無回答	0

3 期間中家庭内であいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	11
イ 自分からしたり相手が先にしたりした	27
ウ 相手が先にした	0
無回答	1

いただいたアンケートの中から（抜粋）

- のぼり旗を掲げるのは通勤中の車にも目立つので、効果があると考えます。
- 自転車通学の中学生はいつも気持ちのよいあいさつを返してくれます。東中卒業生の高校生も朝のあいさつを交わしています。
- 道路を渡る時、車が止まってくれると、しっかりあいさつをして渡る姿がとても感じがよかったです。
- 町内の大人が何人か集まり、子どもたちと笑顔を交わすことができよかった。
- 児童が声をあげてあいさつをする行動のきっかけになるので効果がある。

大人が子どもたちの手本となる取組にしていきたいものです。

<直江津東地域青少年育成会議 地域部会>